

CPU自動切替器 取扱説明書

SW-KVM2CPA



最初に
ご確認
ください。

セット
内容

切替器本体	1台
取扱説明書・保証書(本書)	1部

万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡してください。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいて下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

2	はじめに
	動作環境
	安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)
	・警告
	・注意
	・お手入れについて
3	特長
	仕様
4	各部の説明
5	接続図
6	切替方法
7	使用上の注意
8	トラブルシューティング
10	保証規定・保証書

はじめに...

この度はCPU自動切替器SW-KVM2CPA(以後、本製品と表記)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は、1組のキーボード・マウス・モニター・スピーカー(マイク)で2台のPCを切り替えて使用するための切替器です。

本マニュアルは、本製品を正しくご使用いただくための取扱い方法、使用上の注意等について説明するものです。なお、お読みになった後も本書はお手元に置いてご使用ください。

動作環境

本製品は、以下のハードウェア環境を持つパソコンで動作します。

対応機種

DOS/V機(PS/2マウスコネクタ・PS/2キーボードコネクタ、HD(3WAY)15pinディスプレイコネクタ、ステレオミニジャックコネクタを持つ機種)のデスクトップパソコン

ノートパソコンには対応していません。

マイクの使用に関しては、場合により正常に使用できないことがあります。

スピーカーとマイクを同時に使用することはできません。

対応OS

Windows XP・Me・98SE・98・95・3.1、Windows 2000、Windows NT 4.0、Linux、MS-DOS

詳しくはP.3の仕様をご覧ください。

安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

警告

下記の事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解、改造はしないでください。(火災、感電、故障の恐れがあります)

保証の対象外になります。

水などの液体に濡らさないでください。(火災、感電、故障の恐れがあります)

小さな子供のそばでは本製品の取り外しなどの作業をしないでください。

(飲み込んだりする危険性があります)

注意

下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えたりすることがあります。

取り付け取り外しの時は慎重に作業をおこなってください。(機器の故障の原因となります)

次のようなところで使用しないでください。

直接日光の当たる場所

湿気や水分のある場所

傾斜のある不安定な場所

静電気の発生するところ

通常の生活環境とは大きく異なる場所

長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)

お手入れについて

清掃する時は電源を必ずお切りください。

機器は柔らかい布で拭いてください。

シンナー・ベンジン・ワックス等は使わないでください。

特長

1つのキーボード・マウス・モニターで2台のDOS/V機を切り替えて使用できます。

スピーカーもしくはマイクも同時に切り替えられます。

ケーブル一体式のコンパクトタイプなので設置の際に場所をとりません。

切替方式は「Ctrl」キーを連続して2回押すだけの簡単操作。瞬時に2台のパソコンを切り替えます。接続されたパソコンの電源を入れたまま、コンソール(キーボード・マウス・モニター・スピーカー(マイク))の切替が可能です。

キーボードポート・マウスポートをエミュレーションしているため、再起動(リブート)時にポートを切り替えずとも完全起動が可能です。

接続された2台のパソコンを同時に起動することも可能です。

ソフトウェアのインストールが不要で接続するだけで切り替えて使用することが可能です。

オートスキャン機能搭載で接続されたパソコンを自動で切り替えて、各パソコンを監視することが可能です。

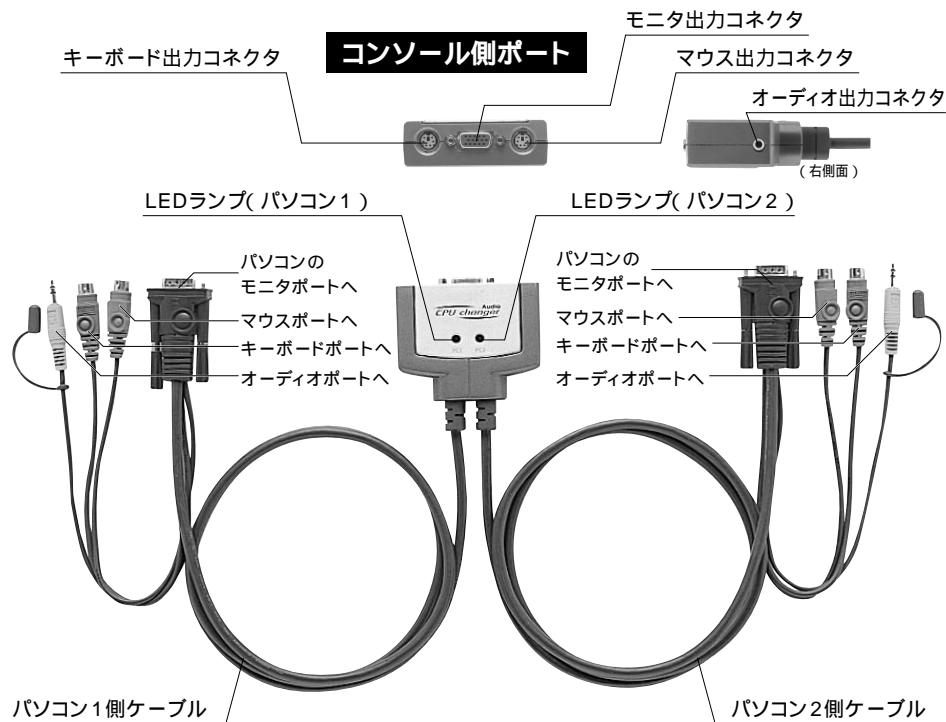
高解像度2304×1440ドットまで表示可能。

電源をパソコン本体からキーボードを通し供給するためACアダプタが不要。

仕様

対応パソコン	DOS/V機(PS/2マウスコネクタ・PS/2キーボードコネクタ、HD(3WAY)15pinディスプレイコネクタ、3.5mmステレオミニジャックコネクタを持つ機種)のデスクトップパソコン ノートパソコンには対応していません。
対応キーボード	PS/2キーボード(ミニDIN6pinコネクタ)
対応マウス	PS/2マウス(ミニDIN6pinコネクタ) Microsoft Intellimouse対応 サソウサブライ製マウス(一部特殊な機能を有するマウスは対応できません。)
対応モニター	HD(3WAY)15pinのコネクタを持つマルチスキャンディスプレイ 解像度2304×1440ドットまで表示可能。 DDC、DDC2B、DDC2AB対応 液晶モニターをご使用になる場合はPC側の設定でリフレッシュレート(走査周波数)を表示可能な値に設定してください。 変更方法は各モニターの取扱説明書をご覧ください。
対応スピーカー/マイク	3.5mmミニジャック接続のスピーカーもしくはマイク(同時に接続することはできません。)
インターフェース	キーボード用/コンソール側:ミニDIN6pinコネクタメス×1、パソコン側:ミニDIN6pinコネクタオス×2 マウス用/コンソール側:ミニDIN6pinコネクタメス×1、パソコン側:ミニDIN6pinコネクタオス×2 モニター用/コンソール側:HD(3WAY)15pinメス×1、パソコン側:HD(3WAY)15pinオス×2 スピーカー・マイク:3.5mmステレオミニジャック×1、パソコン側:3.5mmステレオミニプラグ×2
対応OS	Windows XP Home Edition/Professional Windows 2000 Professional/Server/Advanced Server Windows NT4.0 Workstation/Server Windows Me・98SE・98・95・3.1 MS-DOS、Linux(Redhat8.0動作確認)
切替方式	ホットキー切替(パソコンAとBを切替)...「Ctrl」キーを2回押す(ただし同じCtrlキー) オートスキャンモード(3秒間隔)...左「Shift」キー 右「Shift」キー 「1」キー(フルキー側の数字キーのみ対応) オートスキャンモード(5秒間隔)...左「Shift」キー 右「Shift」キー 「2」キー(フルキー側の数字キーのみ対応) オートスキャンモード(10秒間隔)...左「Shift」キー 右「Shift」キー 「3」キー(フルキー側の数字キーのみ対応) オートスキャンモード(20秒間隔)...左「Shift」キー 右「Shift」キー 「4」キー(フルキー側の数字キーのみ対応) オートスキャンモードの解除.....「スペース」キーを1回押す
消費電力	動作電力-PS/2ポートから電源供給:DC+5V 消費電流:15mA(最大) 消費電圧:75mW(最大)
操作耐久温度	0~40
操作耐久湿度	0%~80%(結露なきこと)
サイズ	W73.7×D60.0×H24.0mm(本体サイズ)
ケーブル長	1.2m
重量	328g(ケーブルを含む)
付属品	CPU切替器本体×1 取扱説明書(保証書付き)×1

各部の説明



パソコン1側

パソコン2側

コンソール側ポート

モニター出力コネクタ.....CRTモニターや液晶モニターを接続するポートです。
 キーボード出力コネクタ.....ご使用になれるキーボードを接続するポートです。
 マウス出力コネクタ.....ご使用になれるマウスを接続するポートです。
 オーディオ出力コネクタ.....ご使用になれるスピーカーもしくはマイクを接続するポートです。

LEDランプ

パソコンの電源を投入するとLEDが点灯(緑)します。
 点灯しているポートが現在切り替わっているポートです。
 切り替わっているポートのみが点灯します。
 オートスキャン実行時は切り替えられているポートのLEDが点滅(緑)します。
 接続された2台のパソコンの電源がOFFの時はLEDは点灯しません。

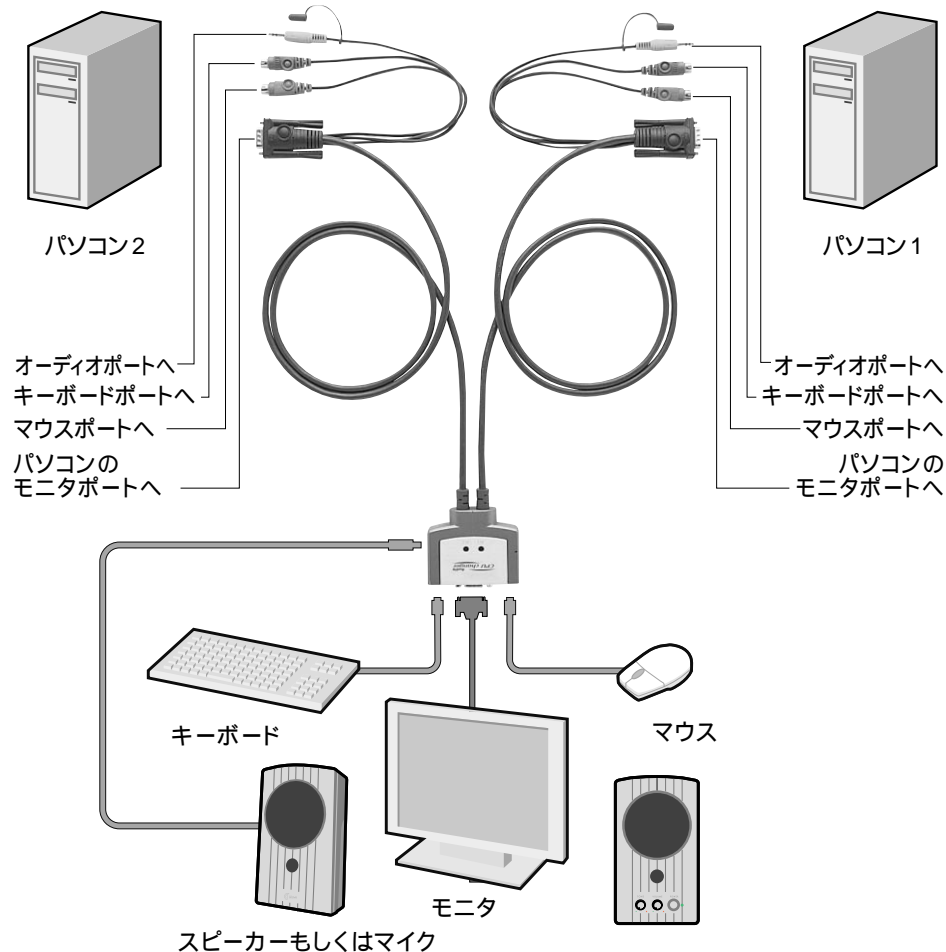
パソコン1側ケーブル/パソコン2側ケーブル

接続するパソコンのモニター・キーボード・マウス・オーディオコネクタへ接続するケーブルです。

接続図

接続する前に、接続するすべての機器の電源をOFFにしてください。

- 1)パソコン1側ケーブル/パソコン2側ケーブルをご使用になれるパソコンのモニターポート、PS/2キーボードポート、PS/2マウスポート、オーディオポートにそれぞれ接続してください。
マウスポート、キーボードポートを間違わないようご注意ください。
- 2)ご使用になれるコンソール(モニター、キーボード、マウス)を切替器のコンソール側ポートに接続してください。
マウスポート、キーボードポートを間違わないようご注意ください。
ご使用になれるオーディオ機器に合わせて、オーディオポートに接続してください。



以上で接続については完了です。
 ご利用になりたいパソコン本体を起動してください。
 起動したパソコン側に自動的に切り替わります。(起動している側のLEDが点灯(緑)します。)
 同時にパソコンを起動した際は先に起動したパソコン側へ切り替わります。
 (同時起動にも対応しています。)

切替方法

- 1) キーボードによる切替方法(ホットキー切替)
キーボードの「Ctrl」キーを2回連続して押してください。(同じ側のキーに限る)
瞬時にもう片方のパソコンへ切り替わります。
もう1度「Ctrl」キーを2回押すことで元のパソコン側に切り替わります。
注意:連続して切り替えた場合、マウス・キーボードの認識に多少時間がかかることがあります。
注意:うまく切り替わらない場合は「Ctrl」キーを2回連続で押すスピードを変えてお試しください。
(例:トン・トン ト・トン 素早く押すなど)

- 2) オートスキャン切替
オートスキャン機能とは起動している2台のパソコンを自動的に交互に切り替える機能です。
サーバー管理やネットワーク管理などに最適で切替操作なしで2台のパソコンの状態をチェックできます。

実行方法

～以下の動作は一連して行ってください。
左「Shift」キーを押します。 右「Shift」キーを押します。「1」「2」「3」「4」キーのいずれかを押します。
押す数字キーにより切替間隔が変更できます。なお数字キーについてはテンキーは対応していません。フルキー側(キーボード上部のキー)のみ対応します。

数字キーによる切替間隔

- 「1」.....3秒間隔
- 「2」.....5秒間隔(初回時はこの設定になっています。)
- 「3」.....10秒間隔
- 「4」.....20秒間隔

上記のキーボード操作でオートスキャン機能が実行されます。
実行中は設定された時間間隔で2台のパソコンを切り替えます。
オートスキャン実行時はキーボード・マウスの操作はできません。
キーボード・マウスの操作がしたい場合はオートスキャンを解除してください。

解除方法

キーボードの「スペース」キーを押す。

注意:本製品の基本的な切替方法は「Ctrl」キーの2回連続押しになります。ゲームやアプリケーションソフトなどで「Ctrl」キーを使用する場合は切替器が作動してしまうという弊害がでますので本製品のご使用はお控えください。

使用上の注意

- 1) 本製品を使用してパソコンを切り替えて使用する際は、万が一に備えてデータのバックアップをこまめにするをお勧めします。(切替時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜け等)
- 2) キーボードパワーオン機能には対応しておりません。
- 3) 本製品はノートパソコンには対応しておりません。

トラブルシューティング

Q1) マウス(キーボード)が動かない

- A1)
・接続用ケーブルでマウスケーブルとキーボードケーブルが逆になっていませんか?
・マウスボタンに機能を割り付けられるなどの特殊なドライバ等をインストールし、使用している場合、一度マウスドライバをアンインストールしてからOS標準のPS/2マウスドライバにてお試しください。特殊な機能を有するマウスに対応していない場合があります。

Q2) キーボードに内蔵されているマウス用PS/2ポートを利用して使用できる?

- A2)
キーボード内蔵のPS/2マウスポートはご利用できません。

Q3) 画面がちらつく(にじむ)

- A3)
切替器-モニタ間のVGAケーブルは何mでしょうか? VGA信号は非常に劣化しやすいためできるだけ品質が良く、長さの短いケーブルをご使用ください。

Q4) ホットキー切替ができない。

- A4)
本製品のホットキーコマンドは「Ctrl」キーを連続して2回押します。押すスピードを速くしてお試しください。一回ずつ別に押すと反応しない場合がございます。
(例「トン・トン」「ト・トン」素早く押す)

Q5) パソコンの電源を全てOFFにしても切替器のLED(ON LINE)が消えない。

- A5)
本切替器はパソコンのキーボードポートから電源を供給し動作しています。
ご使用になられるパソコンがキーボードパワーON(キーボードからパソコンの電源をONにできる)の設定になっている場合、パソコンの電源がOFFの時に常にキーボードへ電気が供給されています。この為に切替器のLEDは点灯し続いている状態でも切替器の使用は問題ありませんが回避方法としてはBIOSの設定でパソコンのキーボードパワーON機能を解除にすることで改善できます。(BIOSによるキーボードパワーON機能の解除方法についてはご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。)

トラブルシューティング(続き)

Q6) ホットキーコマンド(「Ctrl」キー×2回)を他のキーで動作するよう変更できますか？

A6)

ホットコマンドキーは変更できません。本製品を使用した状況で「Ctrl」キーを連続で打つ必要があるソフトウェアや、アプリケーションソフトはご使用になると切替器が作動する恐れがあります。本切替器のご使用を控えていただくかアプリケーションソフトのご使用をお控えください。

Q7)Linux/Free BSDでご使用できますか？またWindowsとの混在はできますか？

A7)

Linuxでの使用は可能です。(Redhat 8.0での動作確認済み)

Free BSDについては場合により動作しない可能性がありますので動作保証外となります。

またWindowsとLinuxなど異なるOSでの混在使用については問題ありません。